



群馬医療福祉大学

山口智晴教授の講座原文の一部より

『福祉の分野でいう「自立」とは、その人が自分の能力を活かして主体的に社会の中で生活を営むことであり、動作が自分一人ですることという意味ではありません。認知症があれば、今までと比べて生活でのつまずきも増して不便なことは増えるでしょうが、それが不幸とは限りません。認知症になったのはその人の連続している人生の一部のイベントなので、認知症になってもその人が主体的に社会に参加できる環境があることが重要です。』

認知症という言葉をもっとポジティブにとらえる社会になるとよいと思っています。昔はがんが見つかったとしても、本人には伝えず、家族に告知され、最期に本人がうすうす気付くという時代もありました。しかし、今ではがんサイバーという言葉もあります。認知症を排除するのはなく、ともに生きる社会になれば救われる人もたくさんいると思います。認知症は「恥」「隠すもの」という偏見が残っているからこそ、ご本人にも、隠そうと取り繕う心理が働きます。歳をとれば誰でもかなる可能性を秘めているからこそ、認知症を診断されたらお互いさま。「認知症って診断されたら、忘れるよー」と周囲に宣言できるくらい安心して、忘れられる社会になれば、取り繕い反心も少なくなるかもしれません。きっとがんに対する社会の考え方が変わってきたように、認知症に対する社会の考え方も、前向きに変わっていくことを期待しています。そうすれば、認知症とともに、もっと幸せに生活できる社会になるのだと思います。』

認知症になっても幸せに生活できる地域づくりを、地域の皆様と一緒に考えていくことも、社会福祉法人の大事な責務です。あじさい園、あじさい園宝、オレンジカフェ水門のお便りやホームページを通して、認知症や認知症ケアについて情報公開し、理解を深める活動を継続してまいります。

また、令和5年4月3日、南肘塚町の特別養護老人ホームあじさい園宝の敷地内に、グループホームあじさい園宝認知症対応型共同生活介護を開設します。

理念を胸に努めてまいります。今後ともご指導ご支援をよろしくおねがいいたします。

お知らせとお願い

◎ご家族面会を再開いたします。

おひとり月1回程度を目安に、お電話にてご予約を承ります。

当面の間はガラス越し面会を原則とします。

1回15分程度でご協力お願い致します。

人数制限はありません。

情勢により再度中止となる可能性もありますが、ご容赦ください。

あま〜い誘惑♡チョコぜんざい

2月のおやつパーティーでは、バレンタインにちなんでチョコぜんざいを作りました。温かいぜんざいに溶かしたチョコレートをあわせて、たっぷりのマシュマロでトッピング。

和と洋の甘さが織りなすハーモニーに「どんな味やろと思ったけど、案外いけるで」という声も聞かれ、ほかほかあま〜いひと時をお楽しみいただきました。



3月行事予定

3日(金)桃の節句

13日(月)喫茶

19日(日)お誕生日会

27日(月)喫茶